

キャラクター名  
垂水 亜里亞 {タルミ・アリア}

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ノイマン		ワークス	FHマーセナリー	カヴァー	映画館スタッフ
	オプショナル		年齢	15	性別	女性
覚醒	犠牲	衝動	破壊	初期侵食率	34	%
出自	資産家	経験	スリーパー	邂逅	欲望：消滅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	2		0			2	行動値	16
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	16
精神	4		0	2		6	戦闘移動	21
社会	2		0			2	全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃	1		RC			交渉		
回避	4	3	知覚	1		意志	1	-5	調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：	FH	2
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
イノセントブレード	白兵	9r+2	3	8		エフェクトを組み合わせた判定ダイス+2個
シザーリッパー	白兵	9r+1	0	14		装甲無視
-決闘者の剣	白兵	9r+3	3	7		単体攻撃の場合攻撃力+4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
FHインターセプター		8	0	0	行動値、ドッジ達成値を+3

所持品	
携帯電話	
カジュアル	
ウェポンケース	
イノセントブレード	
デモンズシード	
AIDA	
紋章	
メモリー<家族>	
FHインターセプター	
戦闘適正体	
決闘者の剣	

合計装甲： 8    合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
強化兵	P	N		
手足の生えたメガロドン	P	懐旧	N	憎悪
シナリオ	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
ブラックマーケット	3	基2	常時	至近	自身	自動	-	
効果： 常備化ポイント+Lv*10								
妨害排除	2	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果： 判定直前 対象はダイス減少を受けない								
勝利の女神	5	4	オート	視界	単体	自動	100	
効果： 判定直後、達成値+Lv*3								
フェイタルヒット	3	4	オート	至近	自身	自動	100	
効果： 与ダメージ直前 攻撃力+LvD								
陽炎	2	2	リア	至近	自身	回避	-	
効果： ドッジダイス+Lv+1個								
R：サラマンダー	2	2	リア	-	-	シンドロ	-	
効果： CL値-Lv (下限7)								
C：ノイマン	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果： CL値-Lv (下限7)								
コントロールソート	1	2	メジャー	武器	-	白兵	-	
効果： 【精神】で判定可能								
スキルフォーカス	3	2	メジャー	-	-	白兵	-	
効果： 達成値+Lv*2								
コンバットシステム	3	3	メ/リ	-	-	白兵	-	
効果： 判定ダイス+Lv+1個								
マルチウェポン	5	3	メジャー	武器	-	白/射	-	
効果： 二つの武器で攻撃								
ヴァリアブルウェポン	2	4	メジャー	武器	-	白/射	リミット	
効果： 所持武器Lv個を合わせて攻撃								
フレームタン	4	3	メジャー	視界	-	白兵	-	
効果： 射程を視界に変更 攻撃力-5-L								

一人称 : 私  
二人称 : あなた、きみ  
好きな物 : おさんぽ、静かな場所  
嫌いな物 : メガロドン、金銭目的で近づいてくる者

有名な資産家の元に生まれた少女。家族とは仲が良く、生活に苦しみことも無く幸せに暮らしていた。過去の事件が原因で、人気の無い場所や静かな場所を散歩することを好んでおり、休日の早朝などによく決行している。人だかりや喧嘩が嫌いというわけではないが、いつこの平穏が乱れてしまうかもしれないと若干不安や恐怖を感じてしまう。また、資産家の元に生まれたことで小さい頃から学友に金銭をせびられることが多々あったため、そういった人間を嫌っている。親の教育によって金銭感覚は至って普通であり、小遣いや誕生日プレゼント等もごく普通の家庭とそう変わらないものだった。

ある日、親と一緒に銀行に来たとき順番待ちをしていると突然銀行に怪物が現われる。その怪物はメガロドンから筋肉質の四肢が生えた外見をしており、大声で叫びながら銀行内の職員や客を襲い始めた。亜里亞たち家族も狙われ、亜里亞を庇って父親と母親は怪物に命を奪われた。大好きだった家族が一瞬で奪われる光景を目の当たりにした亜里亞は気が付くとその場に落ちていたガラス片を怪物に突きつけていた。亜里亞はオーヴァードに覚醒していた。しかし怪物は強く、直ぐに押し返された。そこへ現場に居合わせたFHのエージェントが割り込み、亜里亞を助ける。協力して怪物をなんとか撃退することに成功したが、ほかの誰一人として救うことは出来なかった。

亜里亞はエージェントからレネゲイドのことやFHという組織について教えられ、直ぐにFHに協力することを決める。撃退した怪物の脅威に人々が怯えることのないよう、全てのメガロドンがこの世から消し去ることを願って。FHへ協力することは決めたが、当面の生活をどうにかしなければならぬこともあり、街にあった映画館で働くことにした。

